

平成26年度 指定管理者制度モニタリング結果報告書

1. 施設概要

施設名	神奈川県立伊勢原射撃場		
所在地	伊勢原市上粕屋2, 380番地		
サイトURL	http://www.isehara-shooting.jp/		
根拠条例	神奈川県立伊勢原射撃場条例		
設置目的(設置時期)	県民に射撃に関する知識の習得及び技能の向上の場を提供し、もって県民のスポーツの振興に寄与するため(平成9年5月)		
指定管理者名	一般社団法人神奈川県射撃協会		
指定期間	平成25年1月～31年3月	施設所管課	スポーツ課

2. 総合的な評価

総合評価	総合的な評価の理由と今後の対応
<p style="font-size: 48px; font-weight: bold;">A</p> <p>S: 極めて良好な管理運営状況 A: 良好な管理運営状況 B: 一部改善が必要な管理運営状況 C: 抜本的な改善が必要</p>	<p>◆管理運営等の状況 射撃教習及び技能講習に注力するなど、概ね事業計画書の内容どおりの取組を実施している。また、平成27年2月、日本のトップレベル競技者用トレーニング施設(競技別強化拠点)であるナショナル・トレーニングセンター(National Training Center=N T C)に指定され、同年3月から運用開始している。</p> <p>◆利用状況 利用者の声を反映させた施設運営と積極的な大会誘致を図るなど事業計画に基づいたサービスの向上策に取り組んだ結果、利用者数が目標達成率で2.0%のプラスとなったためA評価となった。また、前年対比でも、15.0%のプラスとなった。</p> <p>◆利用者の満足度 9月と翌年3月に実施し、上位2段階の回答割合が75.7%となったためA評価となった。回収率は、利用団体に対する呼び掛けに努めた結果、83.7%となった。</p> <p>◆収支状況 消費税増税を理由とした指定管理料等の収入の増及び支出の増があったが、利用者の増加に伴う利用料金収入増と徹底した経費節減による支出の抑制を行った結果、収支差額は120千円によりプラスとなったためA評価となった。</p> <p>◆苦情・要望等 施設の経年劣化、老朽化による故障、破損に関する要望など指定管理者に起因しない要望が寄せられたが、職員による事前点検回数を増やしたり、簡易的な修繕を施すなど、適切な対応に努めている。</p> <p>◆事故・不祥事等 クレー放出機の作業中に職員の不注意による事故が3件発生したため、再発防止策を講ずるよう指導した。</p> <p>以上の管理運営状況を総合的に勘案し、総合評価をA評価とした。指定管理者として、これまで2年間の管理運営を通じて得た経験を糧に、また、N T C施設としての強みを最大限生かした事業展開を図ることにより、次年度は事業が軌道に乗るよう期待したい。職員の不注意による事故が発生したことは遺憾であるが、利用者サービスの向上に向けた取組を継続するとともに、利用者からの要望を踏まえたイベントの実施等、更なる利用拡大に努めてもらいたい。</p>

3. 月例・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
現場確認	実施日	特記すべき事項等があった場合はその内容
	平成26年6月5日 平成26年8月19日 平成26年12月15日 平成27年2月4日	
随時モニタリング指導・改善勧告等の有無	有・無	指導・改善勧告等の内容

4. 管理運営等の状況

[指定管理業務]

事業計画の提案内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
<p>【施設の維持管理について】 施設内の改修を含む維持管理については射撃場利用者の直接的サービス低下につながらないよう、優先して取り組む。</p>	<p>クレー放出機の経年劣化による故障等の問題はあつたものの、随時、メンテナンス及び修繕を行い、また、使用頻度の少ない射面の放出機と入れ替える等の処置を行つた。結果として、アンケートからも満足度の維持につながつたと考えられる。</p>	
<p>【事故防止のための安全指導】 射撃場の責務として、単に射撃競技の実施のみならず、利用者の射撃技能の向上、安全対策、安全意識の啓蒙に努める。</p>	<p>安全指導及び対策については、前年度から引き続き実施中であり、26年度の施設に起因する利用者の事故は0件であつた。 また、射撃教習及び技能講習の受講者に対しても事故防止のための安全指導を徹底した。</p>	
<p>【ニーズに合った射撃場運営】 総合射撃場として利用者の期待に応えられるよう鋭意努力する。</p>	<p>総合射撃場として利用者のニーズに対応するとともに、サービス向上のため開場日拡大(4日)を実施した。 また、利用者の意見に対応しつつ、大会の誘致(34件:前年度比11件増)を図ることで、前年度よりも利用者が約15%増加した。</p>	
<p>【射撃人口の拡大】 現在の銃砲所持者が銃砲スポーツや狩猟活動を続けやすい環境を作り、また、一般の方への射撃スポーツ・猟銃の安全性や魅力をPRし、若年層の育成に繋げる。</p>	<p>前年度から引き続き、射撃教習を毎月実施しており、新規の銃砲所持希望者への普及活動に貢献している。 また、県自然環境保全課の実施するかながわハンター塾(計3回)、伊勢原市スポーツ課の実施するビームライフル体験教室など、普及育成に努めている。</p>	
<p>【地元の人材の活用】 射撃場関係者の採用については、危機管理の迅速性、地域の活性化等幅広いメリットが期待できるため、地元の方を優先採用していく方針である。</p>	<p>射撃場の従業員については、地元の方々を積極的に採用している。</p>	

[参考：自主事業]

事業計画の提案内容	実施状況等

5. 利用状況

評価	《評価の目安》目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 目標値を設定していない場合は対前年度比。 社会福祉入所施設と県営住宅については評価を行わないこともできますが、「目標値」欄には代わりに定員数等を記載してください。
A	

	〔参考〕直営/管理委託/指定管理※2	前々年度	前年度	平成26年度
利用者数※1	31,100	休場中	17,748	20,408
対前年度比				115.0%
目標値	〔目標値設定根拠〕	休場中	20,000	20,000
目標達成率	指定管理者提案値		88.7%	102.0%

〔参考：最大利用可能人数〕 ※利用種目、時間、流動人数など条件により異なり算出不可

						合計
定員						
年間利用可能日数						
最大人数※1	0	0	0	0	0	0
稼働率	%	%	%	%	%	

※1 原則は人数だが、施設の状況等により変更は可能。単位を変更した場合はその理由

※2 現指定期間より前の状況について参考として記載。(既に指定管理者制度を導入していた場合は期間中の平均値)

6. 利用者の満足度

評価	《評価の目安》 「満足」(上位二段階の評価)と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満
A	

満足度調査の実施内容	協定等に定めた調査内容	実施結果と分析
	毎年2回(上半期、下半期)	協定に定めた年間2回を9月と翌年3月に実施した。結果として、職員の利用者対応及び技能の向上、施設の改修を施したことにより、前年度と同様に多くの利用者から高い評価を受けた。

実施した調査の配付方法 利用者に直接配布 回収数/配付数 318 / 380 = 83.7%

配付(サンプル)対象 施設の利用者

	満足	どちらかといえば満足	普通	どちらかといえば不満	不満	合計	満足、不満に回答があった場合はその理由
総合満足度の回答数	140	97	64	11	1	313	・ウォシュレットが付いて嬉しい ・クレーが見にくい ・放出機の故障が多い
回答率	44.7%	31.0%	20.4%	3.5%	0.3%		
前年度の回答数	140	63	45	14	0	265	
回答率の対前年度比	85%	130%	120%	67%			

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

7. 収支状況

評価	《評価の目安》 収入合計／支出合計の比率が S(優良)：105%以上 A(良好)：100%～105%未満 B(概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満 C(収支比率に15%を超えるマイナスが生じている)：85%未満
A	

[指定管理業務]

(単位：千円)

	[参考] 直営／管理委託 ／指定管理※	前々年度	前年度	平成26年度	備考
(1) 収入					
〔参考〕年度計画	直営	開場準備	102,354	79,395	
指定管理料		7,645	0	0	
利用料		0	34,460	55,087	
その他収入		0	28,802	25,021	
合計	0	7,645	63,262	80,108	
対前年度比			827.5%	126.6%	
対計画比			61.8%	100.9%	
(2) 支出					
〔参考〕年度計画			63,050	79,395	
支出額		12,630	68,646	79,988	
(内 納付金)		()	(4,408)	(4,408)	
対前年度比			543.5%	116.5%	
対計画比			108.9%	100.7%	
(3) 収支					
〔参考〕年度計画			0	0	
収支差額	0	-4,985	-5,384	120	
対前年度比			108.0%	—	
収入合計／支出合計の比率		60.5%	92.2%	100.2%	

※ 現指定期間より前の状況について参考として記載。(既に指定管理者制度を導入していた場合は期間中の平均値)

※ の欄は記入不要。

[参考：県が支出した修繕工事費] ※県が支出する計画修繕工事・各所管工事等に係る修繕費

時期(年・月)	金額(千円)	工事箇所・内容(金額)
平成27年1月	117	水処理プラントレベルセンサー修繕工事(116.6千円)
平成27年3月	1,718	トイレ洋式化改修工事(1,717.2千円)
平成27年3月	702	トラップ運営棟及びバスケット運営棟ドア新設工事(702千円)
平成27年3月	1,860	電気配線及び照明改修工事(1,859.4千円)
平成27年3月	2,494	クレー管理棟2階空調機設備工事(2,493.1千円)
平成27年3月	1,674	トラップ射場及びバスケット射場門扉改修工事(1,674千円)
平成27年3月	497	公共施設案内標識新設工事(496.8千円)

(基本協定において県が負担することとしている修繕費等：協定書上県による負担はない 円以上)

[参考：資本的な収入及び支出等の状況]

	金額(千円)	内容(金額)
収入		
支出		
積立		

8. 苦情・要望等

分野	報告件数		概要	対応状況
施設・設備	対面	2 件	・トイレを洋式化してほしい ・大口径射場の赤色回転灯が1階しか設置されておらず、標的交換時に危険との指摘	・計画的に洋式化改良工事を行う旨を伝え、理解を求めた ・赤色回転灯のスイッチを2階に増設し対応
		件		
職員対応		件		
		件		
事業内容		件		
		件		
その他		件		
		件		

※指定管理者に起因するものは必ず記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

9. 事故・不祥事等

発生日	事故等の概要	原因・問題点	①指定管理者の対応状況(再発防止策・業務改善策等)
			②県の対応状況(随時モニタリング・改善勧告の実施等)
平成26年5月4日	職員がクレー放出機出口の蓋の開放作業中に同蓋が顔面に当たり左前歯を折ったもの	職員の不注意	①再発防止のため、職員に注意喚起を実施 ②事故の詳細を聴取し、再発防止のための措置状況を確認
平成26年5月9日	職員がクレー放出機への標的の補充作業中に同機器のバネが右手首にあたり骨折したもの	職員の不注意	①再発防止のため、職員に注意喚起を実施 ②事故の詳細を聴取し、再発防止のための措置状況を確認
平成26年10月26日	職員がクレー放出機の点検作業中に同機器のバネが左側頭部に当たり打撲及び挫創を負ったもの	職員の不注意	①再発防止のため、職員に注意喚起を実施 ②事故の詳細を聴取し、再発防止のための措置状況を確認

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事に関して改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。